

TASCAM DA-6400/DA-6400dp

CONTROL I/O 端子

TELNET プロトコル仕様書

Ver. 1.00

2016 年 4 月

ティアック株式会社

ご注意

ティアック株式会社(以下、弊社といいます)は、本仕様書記載のプロトコルにつきまして、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件にご同意されることを前提として、ご使用を許諾申し上げます。

以下のプロトコル使用約款の条件にご同意頂けない場合は、本件プロトコルをご使用になることはできませんので本仕様書をご返却下さい。また、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おき下さい。

プロトコル使用約款

1. 本契約は、お客様が本プロトコルのご使用を開始したときから発効します。
2. 弊社は、該当するタスカム製品と互換性を有する装置(ソフトウェアを含む)を開発するために「使用」する非独占的、譲渡不能の権利をお客様に許諾します。
3. お客様が本仕様書を入手されたことは、本使用約款に規定された以外に本プロトコルのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本仕様書が弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識下さい。本プロトコルに係る一切の知的財産権は、弊社若しくは弊社への供給元に帰属しております。
4. (1) お客様は、本仕様書を複製することはできません。
(2) お客様は、本仕様書を弊社の事前承諾無く、第三者に譲渡することはできません。
(3) 本仕様書は、弊社に帰属する秘密情報が記載されておりますので、お客様は、弊社の事前承諾無く、第三者に開示することはできません。
5. 本仕様書および本プロトコルは、現状あるがままの状態を提供申し上げるものです。弊社は、本仕様書の記載事項や本プロトコルが、お客様の特定の使用目的に適合するか、或いは、誤りがないか、について何等の保証するものではありません。
6. 弊社は、本仕様書の記載内容について、お客様のお問い合わせに対応することはできません。
7. 弊社は、本仕様書および本プロトコルの使用や使用不能から生じたいかなる損害(事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など)についても責任を負いません、例え、その損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

以上

1. 概要

DA-6400/DA-6400dp に装備の ETHERNET 端子(TELNET)を使用して、コンピューターなどの外部機器より DA-6400/DA-6400dp を制御することが可能です。ここでは DA-6400/DA-6400dp は被制御機器となります。また、外部より制御を行う機器は制御機器となります。

2. コマンドフォーマット

コマンドフォーマット概要

コマンドフォーマットを次に示します。

Byte 1	2	3	4	5	6	7	...	n-1	n
ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	...	LF	CR

コマンドは「ID」で始まり、「ラインフィード(LF)」「キャリッジリターン(CR)」で終わる、ASCII フォーマットを基調としたものとなっています。ただし、プロジェクト名などの文字列に対しては UTF-8 を使用します。

Machine ID(ID)については後述します。

コマンドは 2 バイトの ASCII で表します。

データの詳細については、各コマンドの詳細を参照してください。なお、データ値として 0~9 および A~F を使用するコマンドにおける A~F は大文字キャラクタを使用します。

コマンドの具体例

例 1: Machine ID=0 の被制御機器に PLAY コマンドを送る場合

停止または再生待機時、このコマンドにより被制御機器は再生を開始します。

PLAY コマンドは[12]であり、次のように送信します。

	ID	Command			
ASCII	0	1	2	LF	CR
HEX	30h	31h	32h	0Ah	0Dh

例 2: Machine ID=0 の被制御機器に 123 テイク目のダイレクトサーチを指示する場合

この動作を行うためのコマンドは”DIRECT TRACK SEARCH PRESET [23]”を送信します。

データ・バイトは 2 バイト単位の ASCII で構成されています。

”DIRECT TRACK (TAKE) SEARCH PRESET”コマンドのテイク番号指定は次のようになります。

Data 1 指定するテイク番号の十の桁

Data 2 指定するテイク番号の一の桁

Data 3 指定するテイク番号の千の桁

Data 4 指定するテイク番号の百の桁

従って、送信コマンドは次のようになります。

	ID	Command		Data:123 テイク					
ASCII	0	2	3	2	3	0	1	LF	CR
HEX	30h	32h	33h	32h	33h	30h	31h	0Ah	0Dh

Machine ID(ID)

本機は、Machine ID=0 でコマンドの受信およびリターンの送信を行います。

Machine ID=0 以外の ID を持つコマンドを受信した場合は、そのコマンドを無視します。

未対応なコマンドを受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

コマンド一覧

コマンドの一覧は次のとおりです。

Control/Preset/Sense Command		Return Command		Adopted F/W Ver
0F	INFORMATION REQUEST	8F	INFORMATION RETURN	
10	STOP			
12	PLAY			
13	RECORD			
14	PAUSE			
16	SEARCH			
1A	SKIP			
23	DIRECT TRACK SEARCH PRESET			
27	CLOCK DATA PRESET	A7	CLOCK DATA RETURN	
2C	TIME SEARCH PRESET			
37	REPEAT MODE SELECT	B7	REPEAT MODE SELECT RETURN	
4C	REMOTE/LOCAL MODE SELECT	CC	REMOTE/LOCAL MODE RETURN	
4D	PLAY MODE SELECT			
4E	PLAY MODE SENSE	CE	PLAY MODE RETURN	
50	MECHA STATUS SENSE	D0	MECHA STATUS RETURN	
55	TRACK No. STATUS SENSE	D5	TRACK No. STATUS RETURN	
57	CURRENT TRACK INFORMATION SENSE	D7	CURRENT TRACK INFORMATION RETURN	
58	CURRENT TRACK TIME SENSE	D8	CURRENT TRACK TIME RETURN	
59	TITLE SENSE	D9	TITLE RETURN	
5D	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE	DD	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN	
5F	KEYBOARD TYPE SENSE	DF	KEYBOARD TYPE RETURN	
		F0	ERROR SENSE REQUEST	
		F1	CAUTION SENSE REQUEST	
		F2	ILLEGAL STATUS	
		F6	CHANGE STATUS	
78	ERROR SENSE	F8	ERROR SENSE RETURN	
79	CAUTION SENSE	F9	CAUTION SENSE RETURN	
7F	VENDER COMMAND	FF	VENDER COMMAND RETURN	

ベンダコマンド一覧

ベンダコマンド(Command 7F / FF)の一覧は次のとおりです。

コマンドコードは、Command(2バイト)、Category Code(2バイト)、Sub Command(2バイト)を組み合わせたものを記載しています。詳細については、31 ページ以降をご覧ください。

Control/Sense Command		Return Command		Adopted F/W Ver
7F021A	PROJECT SKIP			
7F0223	PROJECT SELECT			
7F0240	CREATE PROJECT	FF02C0	PROJECT CREATE RETURN	
7F0242	REBUILD PROJECT	FF02C2	REBUILD PROJECT ACK	
7F0244	DELETE PROJECT	FF02C4	DELETE PROJECT ACK	
7F0255	PROJECT No STATUS SENSE	FF02D5	PROJECT No RETURN	
7F025A	PROJECT NAME SENSE	FF02DA	PROJECT NAME RETURN	
7F025E	TOTAL PROJECT No SENSE	FF02DE	TOTAL PROJECT No RETURN	
7F0310	MARK SET			
7F0323	DIRECT MARK SKIP PRESET			
7F0324	MARK TIME PRESET			
7F0329	MARK NAME PRESET			
7F0344	DELETE MARK			
7F0355	MARK No. STATUS SENSE	FF03D5	MARK No. RETURN	
7F0358	MARK TIME SENSE	FF03D8	MARK TIME RETURN	
7F0359	MARK NAME SENSE	FF03D9	MARK NAME RETURN	
7F035D	TOTAL MARK No SENSE	FF03DD	TOTAL MARK No RETURN	
7F0600	CHASE SELECT	FF0680	CHASE RETURN	
7F0610	TC START TIME PRESET	FF0690	TC START TIME RETURN	
7F0611	TC USER BITS PRESET	FF0691	TC USER BITS RETURN	
7F0612	TC RESTART			
7F0620	TC GENERATOR MODE SELECT	FF06A0	TC GENERATOR MODE RETURN	
7F0621	TC FRAME TYPE SELECT	FF06A1	TC FRAME TYPE RETURN	
7F0630	TC OUTPUT MODE SELECT	FF06B0	TC OUTPUT MODE RETURN	
7F0640	CLOCK MASTER SELECT	FF06C0	CLOCK MASTER RETURN	
7F0648	WORD THRU SELECT	FF06C8	WORD THRU RETURN	
7F0800	RECORD FUNCTION SELECT	FF0880	RECORD FUNCTION RETURN	
7F0801	INPUT MONITOR FUNCTION SELECT	FF0881	INPUT MONITOR FUNCTION RETURN	
7F0822	BIT LENGTH SELECT	FF08A2	BIT LENGTH RETURN	
7F0823	MAX FILE SIZE SELECT	FF08A3	MAX FILE SIZE RETURN	
7F0824	PAUSE MODE SELECT	FF08A4	PAUSE MODE RETURN	
7F082A	USER WORD PRESET			
7F0832	TIME INTERVAL MARKER TIME PRESET	FF08B2	TIME INTERVAL MARKER TIME RETURN	
7F0841	AUDIO OVER MARKER SELECT	FF08C1	AUDIO MARKER RETURN	
7F0842	TIME INTERVAL MARKER SELECT	FF08C2	TIME INTERVAL MARKER RETURN	
7F0843	SYNC UNLOCK MARKER SELECT	FF08C3	SYNC UNLOCK MARKER RETURN	
7F0850	REC FS SELECT	FF08D0	REC FS RETURN	
7F085A	USER WORD SENSE	FF08DA	USER WORD RETURN	
7F0860	FILE NAME SELECT	FF08E0	FILE NAME RETURN	
7F1001	MEDIA REMAIN SENSE	FF1081	MEDIA REMAIN RETURN	

7F1044	MEDIA FORMAT	FF10C4	MEDIA FORMAT ACK	
7F1110	AUX ASSIGN KEY SELECT	FF1190	AUX ASSIGN KEY RETURN	
7F1111	AUX ASSIGN TALLY SELECT	FF1191	AUX ASSIGN TALLY RETURN	
7F1250	INPUT ROUTING SELECT	FF12D0	INPUT ROUTING RETURN	
7F1251	OUTPUT ROUTING SELECT	FF12D1	OUTPUT ROUTING RETURN	
7F1321	METER PEAK HOLD TIME PRESET	FF13A1	METER PEAK HOLD TIME RETURN	
7F1330	METER PEAK CLEAR			
7F1420	DIGITAL REFERENCE LEVEL PRESET	FF14A0	DIGITAL REFERENCE LEVEL RETURN	
7F4200	TAKE RENAME	FF4280	TAKE RENAME ACK	
7F4230	TAKE ERASE	FF42B0	TAKE ERASE ACK	
7F4252	TAKE COPY	FF42D2	TAKE COPY ACK	

注) “AdoptedF/W Ver.”に対応バージョンが未記入のコマンドは、Ver.1.30 以降のバージョンにて対応しています。

コマンド・シーケンス

制御機器が送信するトランスポート・コントロールやデータのプリセット・コマンドに対して、ほとんどの場合、被制御機器より ACK は送信しません。

被制御機器に設定されているデータ値を返信するよう要求するデータ・センス・コマンドに対しては、被制御機器はリターン・コマンドを返信します。

また被制御機器が停止状態から再生状態に変わるなど、状態変化が生じたとき、およびエラー等が発生したときには、被制御機器はそれらを通知するコマンドを制御機器に対して送信します。

以下に、コマンド・シーケンスの例を述べます。

なお、コマンドとコマンドの間は 20ms 以上あけてください。

例 1: 被制御機器のトランスポート・コントロールを行う

ここでは再生を行う例を述べます。

被制御機器は PLAY コマンドを受信して再生状態になると CHANGED STATUS コマンドを送信します。

PLAY コマンドについての ACK は送信しません。

制御機器	コマンド	被制御機器	被制御機器の状態
PLAY	->		停止状態
		<- CHANGED STATUS	再生状態になると送信

例 2: データを設定する

ここでは REPEAT モードの設定例を述べます。

被制御機器は REPEAT MODE SELECT (Select) コマンドを受信すると REPEAT モードを設定します。

このコマンドについての ACK は送信しません。

制御機器	コマンド	被制御機器	被制御機器の状態
REPEAT MODE SELECT (Select ON)	->		REPEAT モードを ON に設定

例 3: 設定されているデータを取得する

ここでは設定されている REPEAT モードを取得する例を述べます。

被制御機器は REPEAT MODE SELECT (Sense) コマンドを受信すると、設定されている REPEAT モードを返信します。

制御機器	コマンド	被制御機器	被制御機器の状態
REPEAT MODE SELECT (Sense)	->		
		<- REPEAT MODE SELECT RETURN	

例 4: 被制御機器のステータスを確認して次の動作を行う

被制御機器は動作状態が変わると CHANGED STATUS を送信します。CHANGED STATUS をトリガーとして MECHA STATUS SENSE を送信すると、新たな動作状態を確認することができます。

ここでは被制御機器の録音待機状態を確認してから、録音を開始する場合を述べます。

制御機器	コマンド	被制御機器	被制御機器の状態
RECORD (Record Ready)	->		停止状態
		<- CHANGED STATUS	録音待機状態になると送信
MECHA STATUS SENSE	->		
		<- MECHA STATUS RETURN	録音待機状態を返信
RECORD (Record)	->		
		<- CHANGES STATUS	録音状態になると送信

コマンド詳細

ここに記載されているコマンドやデータ、Machine ID はキャラクタ(ASCII)です。

Command は 2 バイトのキャラクタ、MachineID は 1 バイトのキャラクタ、Data は 1 バイトずつのキャラクタです。本機で扱うことが可能なテイク、プロジェクト番号の仕様は次のとおりです。ただし、存在しない番号を指定された場合は無効なコマンドとみなします。

テイク番号	最大 999
プロジェクト番号	最大 99

INFORMATION REQUEST

被制御機器のソフトウェア・バージョン等の情報を返信するよう要求します。

Command	0F
Machine ID	0
Data	なし
Return	INFORMATION RETURN [8F]

STOP

被制御機器を停止にします。

Command	10
Machine ID	0
Data	なし
Return	なし

PLAY

被制御機器を再生にします。

録音待機からの録音開始は、RECORD (Record)を使用してください。

Command	12
Machine ID	0
Data	なし
Return	なし

RECORD

被制御機器を録音、または録音待機にします。

Command	13
Machine ID	0
Data	2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Record	録音待機から録音を開始します。
0	1	Record Pause	録音待機にします。
0	2	Take Split	録音中のテイクを更新します。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return	なし
--------	----

PAUSE

被制御機器を再生待機にします。

録音の一時停止は、RECORD (Record Pause)を使用してください。

Command	14
Machine ID	0
Data	2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	1	Pause On	再生待機にします。

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return	なし
--------	----

SEARCH

被制御機器をサーチ再生にします。

STOP、PLAY、PAUSE 等のコマンドを受信するまでサーチ再生を継続します。

Command 16

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Search Forward(Normal)	順方向サーチ再生モードにします。(標準スピード)
0	1	Search Reverse(Normal)	逆方向サーチ再生モードにします。(標準スピード)
1	0	Search Forward(High)	順方向サーチ再生モードにします。(ハイスピード)
1	1	Search Reverse(High)	逆方向サーチ再生モードにします。(ハイスピード)

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

SKIP

被制御機器でスキップします。

テイクスキップします。

マークスキップします。

スキップ後は、スキップ直前の状態を維持します。

Command 1A

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Track Skip Next	次のテイクにスキップします。
0	1	Track Skip Previous	現在位置が先頭から 1 秒未満のときは、一つ前に、それ以外のときは、現在のテイクの先頭にスキップします。
2	0	Mark Skip Next	次のマークにスキップします
2	1	Mark Skip Previous	前のマークにスキップします。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

DIRECT TRACK SEARCH PRESET

テイク番号を指定してダイレクトサーチします。

ダイレクトサーチ後の被制御機の動作は、本コマンドのデータフォーマット(データ長)によって異なります。

[Data 長が 4 バイトのとき]

停止モードおよび再生モード時に本コマンドを受信すると、ダイレクトサーチ後再生モードになります。それ以外のモード時は、ダイレクトサーチ後もそのモードを維持します。

[Data 長が 6 バイトのとき]

ダイレクトサーチ後の動作は、Data 5 / 6 での指定に従います。

Command 23

Machine ID 0

Data 4 bytes or 6 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク番号の十の桁	テイク番号 例) 2301:テイク 123
Data 2	テイク番号の一の桁	
Data 3	テイク番号の千の桁	
Data 4	テイク番号の百の桁	

[Data 長が 6 バイトのとき、動作指定コードとして以下の Data が続きます]

Data 5	Data 6	動作	備考
1	0	STOP	サーチ完了後停止します
1	2	PLAY	サーチ完了後再生します
1	4	PAUSE	サーチ完了後再生待機します

・ 存在しないテイク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

・ Data 5 / 6 の動作指定コードで表に無いコードを指定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

CLOCK DATA PRESET

被制御機器に、日付・時間情報を設定します。

Data 1 と Data2 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 27

Machine ID 0

Data 10 byte または 2byte

	内容	備考
Data 1	西暦年の十の桁	例) 1602231234:2016 年 2 月 23 日 12 時 34 分
Data 2	西暦年の一の桁	
Data 3	月の十の桁	
Data 4	月の一の桁	
Data 5	日の十の桁	
Data 6	日の一の桁	
Data 7	時の十の桁	
Data 8	時の一の桁	
Data 9	分の十の桁	
Data 10	分の一の桁	

- ・ 存在しない日付や時間を設定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CLOCK DATA RETURN [A7]

TIME SEARCH PRESET

テイク番号および時刻を指定してサーチします。

サーチ後の被制御機の動作は、本コマンドのデータフォーマット(データ長)によって異なります。

[Data 長が 12 バイトのとき]

停止時および再生時に本コマンドを受信すると、サーチ後再生を開始します。それ以外の時では、サーチ後も状態を維持します。

[Data 長が 14 バイトのとき]

サーチ後の動作は、Data 13 / 14 での指定に従います。

Command 2C

Machine ID 0

Data 12 bytes or 14bytes

	内容	備考
Data 1	テイク番号の十の桁	
Data 2	テイク番号の一の桁	
Data 3	テイク番号の千の桁	
Data 4	テイク番号の百の桁	
Data 5	時の十の桁	
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

[Data 長が 14 バイトのとき、以下の Data が続きます]

Data 13	Data 14	動作	備考
1	0	STOP	サーチ完了後停止します
1	2	PLAY	サーチ完了後再生します
1	4	PAUSE	サーチ完了後再生待機します

- ・ 存在しないテイク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ 動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ Data 13 / 14 の動作指定コードで表に無いコードを指定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

REPEAT MODE SELECT

被制御機器のリピートモードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 37

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	リピート オフ
0	1	Repeat Normal	リピート ノーマル
2	1	Repeat Vamping	リピート ヴァンピング
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REPEAT MODE SELECT RETURN [B7]

REMOTE/LOCAL SELECT

被制御機器の本体での操作を有効または無効にします。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 4C

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Remote	CONTROL I/O (TELNET, RS-422, PARALLEL) によるリモート操作のみを有効とします。本体パネルでのキー操作は無効とします。
0	1	Local	リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REMOTE/LOCAL SELECT RETURN [CC]

PLAY MODE SELECT

被制御機器のプレイモードを設定します。

なお、プレイモードの確認はコマンド”PLAY MODE SENSE [4E]”で行います。

オペレーションモードがタイムラインモードでは、本コマンドは無視されます。

Command 4D

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	All Take	カレントセッション内の全テイクを再生
0	1	One Take	カレントテイクのみ再生

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

PLAY MODE SENSE

被制御機器のプレイモードを返信するよう要求します。

Command 4E

Machine ID 0

Data なし

Return PLAY MODE RETURN [CE]

MECHA STATUS SENSE

被制御機器の稼動状態情報を返信するよう要求します。

Command 50
Machine ID 0
Data なし
Return MECHA STATUS RETURN [D0]

TRACK No. STATUS SENSE

現在、位置しているテイク/エントリー番号を返信するよう要求します。

Command 55
Machine ID 0
Data なし
Return TRACK No. STATUS RETURN [D5]

CURRENT TRACK INFORMATION SENSE

現在、位置しているテイク/エントリーの情報を返信するよう要求します。

録音中は ILLEGAL[F2]を返信します。

Command 57
Machine ID 0
Data なし
Return CURRENT TRACK INFORMATION RETURN [D7]

CURRENT TRACK TIME SENSE

現在位置しているテイク(録音時は録音しているテイク)の時間情報を返信するよう要求します。(時、分、秒、フレーム)

Command 58
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
1	0	Elapsed Time	テイク経過時間
1	1	Remain Time	テイク残量時間 録音時は Max ファイルサイズからの録音可能残量
1	2	Total Elapsed Time	プロジェクト全体での経過時間
1	3	Total Remain Time	プロジェクト全体での残量時間 録音時はメディアの録音可能残量
1	4	Timecode Time	タイムコード時間

・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CURRENT TRACK TIME RETURN [D8]

TITLE SENSE

指定したテイクの名前を返信するよう要求します。

Command 59

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク番号の十の桁	テイク番号 例) 2301:テイク 123
Data 2	テイク番号の一の桁	
Data 3	テイク番号の千の桁	
Data 4	テイク番号の百の桁	

・ 存在しないテイク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TITLE RETURN [D9]

TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME SENSE

カレントの総テイク数および合計時間を返信するよう要求します。

Command 5D

Machine ID 0

Data なし

Return TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME RETURN [DD]

KEYBOARD TYPE SENSE

被制御機器に接続されているキーボードの種類を返信するよう要求します。

Command 5F

Machine ID 0

Data なし

Return KEYBOARD TYPE RETURN [DF]

ERROR SENSE

現在のエラー状態を返信するよう要求します。

Command 78

Machine ID 0

Data なし

Return ERROR SENSE RETURN [F8]

CAUTION SENSE

現在の警告状態を返信するよう要求します。

Command 79

Machine ID 0

Data なし

Return CAUTION SENSE RETURN [F9]

VENDER COMMAND

本機固有の機能を制御するコマンドです。22ページからの「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

Command 7F

INFORMATION RETURN

コマンド”INFORMATION REQUEST [0F]”に対する返信コマンドです。
被制御機器のソフトウェア・バージョンを返信します。

Command 8F

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	ソフトウェア・バージョンの十の桁	Data 1 - Data 4 のデータ例 0100 Version 1.00
Data 2	ソフトウェア・バージョンの一の桁	
Data 3	ソフトウェア・バージョンの小数点第一位の桁	
Data 4	ソフトウェア・バージョンの小数点第二位の桁	

Request/Preset INFORMATION REQUEST [0F]

CLOCK DATA RETURN

コマンド”CLOCK DATA PRESET [27]”に対する返信コマンドです。
設定されている日付・時計値を返信します。

Command A7

Machine ID 0

Data 12bytes

	内容	備考
Data 1	西暦年の十の桁	
Data 2	西暦年の一の桁	
Data 3	月の十の桁	
Data 4	月の一の桁	
Data 5	日の十の桁	
Data 6	日の一の桁	
Data 7	時の十の桁	
Data 8	時の一の桁	
Data 9	分の十の桁	
Data 10	分の一の桁	
Data 11	秒の十の桁	
Data 12	秒の一の桁	

Request/Preset CLOCK DATA PRESET [27]

REPEAT MODE SELECT RETURN

コマンド”REPEAT MODE SELECT [37]”に対する返信コマンドです。
リピートモードを返信します。

Command B7

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	リピート オフ
0	1	Repeat Normal	リピート ノーマル
2	1	Repeat Vamping	リピート ヴァンピング

Request/Preset REPEAT MODE SELECT [37]

REMOTE/LOCAL SELECT RETURN

コマンド”REMOTE/LOCAL SELECT [4C]”に対する返信コマンドです。
 本体パネルでのキー操作の有効/無効を返信します。

Command CC

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Remote	CONTROL I/O (TELNET, RS-422, PARALLEL) によるリモート操作のみを有効とします。本体パネルでのキー操作は無効とします。
0	1	Local	リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。

Request/Preset REMOTE/LOCAL SELECT [4C]

PLAY MODE RETURN

コマンド”PLAY MODE SENSE [4E]”に対する返信コマンドです。
 現在のプレイモードを返信します。

Command CE

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	All Take	カレントプロジェクト内の全テイクを再生
0	1	One Take	カレントテイクのみ再生

Request/Preset PLAY MODE SENSE [4E]

MECHA STATUS RETURN

コマンド”MECHA STATUS SENSE [50]”に対する返信コマンドです。
現在の稼動状態情報を返信します。

Command D0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	No Media	メディアが挿入されていない
1	0	Stop	停止
1	1	Play	再生中
1	2	Ready On	再生待機
2	8	Cue	早送り中
2	9	Review	早戻し中
8	1	Record	録音中
8	2	Record Ready	録音待機
8	3	Information Writing	各種情報の書き込み中
F	F	Other	その他の状態

Request/Preset MECHA STATUS SENSE [50]

TRACK No. STATUS RETURN

コマンド”TRACK No. STATUS SENSE [55]”に対する返信コマンドです。
現在、位置しているテイク番号を返信します。

Command D5

Machine ID 0

Data 6 bytes

	内容	備考
Data 1	00	常に固定値 “00”を返します。
Data 2		
Data 3	テイク番号の十の桁	
Data 4	テイク番号の一の桁	
Data 5	テイク番号の千の桁	
Data 6	テイク番号の百の桁	

Request/Preset TRACK No. STATUS SENSE [55]

CURRENT TRACK INFORMATION RETURN

コマンド”CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]”に対する返信コマンドです。

Command D7
Machine ID 0/1
Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク番号の十の桁	
Data 2	テイク番号の一の桁	
Data 3	テイク番号の千の桁	
Data 4	テイク番号の百の桁	
Data 5	時の十の桁	
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

Request/Preset CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]

CURRENT TRACK TIME RETURN

コマンド”CURRENT TRACK TIME SENSE [58]”に対する返信コマンドです。

現在位置しているテイク(録音時は録音しているテイク)の時間情報を返信します。(時、分、秒、フレーム)

Command D8
Machine ID 0/1
Data 10 bytes

	内容	備考
Data 1	Time Mode	10: テイク経過時間
Data 2		11: テイク残量時間(録音時は Max ファイルサイズからの録音可能残量) 12: プロジェクト全体での経過時間 13: プロジェクト全体での残量時間(録音時はメディアの録音可能残量) 14: HMSF 形式のタイムコード時間
Data 3	時の十の桁	
Data 4	時の一の桁	
Data 5	分の十の桁	
Data 6	分の一の桁	
Data 7	秒の十の桁	
Data 8	秒の一の桁	
Data 9	フレームの十の桁	
Data 10	フレームの一の桁	

Request/Preset CURRENT TRACK TIME SENSE [58]

TITLE RETURN

コマンド”TITLE SENSE [59]”に対する返信コマンドです。
指定されたテイクの名前を UTF-8 で返信します。

Command D9
Machine ID 0
Data 5 bytes～123 bytes

	内容	備考
Data 1	テイク番号の十の桁	
Data 2	テイク番号の一の桁	
Data 3	テイク番号の千の桁	
Data 4	テイク番号の百の桁	
Data 5 - Data123	タイトル文字列	UTF-8

・タイトルは 1 バイト以上 119 バイト以下です。

Request/Preset TITLE SENSE [59]

TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME RETURN

コマンド”TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME SENSE [5D]”に対する返信コマンドです。
総テイク数および選択再生範囲の総時間を返信します。

Command DD
Machine ID 0
Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	総テイク数の十の桁	Data 1 - Data 4 が 0000 の場合は、セッションにテイク/ エントリーが含まれていないか、メディアが挿入されて いないことを示します。
Data 2	総テイク数の一の桁	
Data 3	総テイク数の千の桁	
Data 4	総テイク数の百の桁	
Data 5	時の十の桁	
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

Request/Preset TOTAL TRACK No. / TOTAL TIME SENSE [5D]

KEYBOARD TYPE RETURN

コマンド”KEYBOARD TYPE SENSE [5F]”に対する返信コマンドです。
接続されているキーボードの種類を返信します。

Command DF
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Japanese Keyboard	日本語キーボード
0	1	US Keyboard	英語キーボード

Request/Preset KEYBOARD TYPE SENSE [5F]

ERROR SENSE REQUEST

エラー状態が変わった場合に本コマンドを返信します。
制御機は ERROR SENSE[78]を送信してエラー内容を確認してください。

Command F0
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

CAUTION SENSE REQUEST

警告状態が変わった場合に本コマンドを返信します。
制御機は CAUTION SENSE[79]を送信して警告内容を確認してください。

Command F1
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

ILLEGAL STATUS

被制御機器に無効なコマンドまたはデータが送出された場合に本コマンドを返信します。
被制御機器から本コマンドが返信された場合、制御機器は仕様にあったコマンドまたはデータを送信し直してください。

Command F2
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

CHANGE STATUS

被制御機器の動作やモードが変化したことを通知するコマンドです。

Command F6
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Changed Mechanical Status	稼動状態が変化した
0	3	Changed Track	テイク番号が変わった。

Request/Preset なし

ERROR SENSE RETURN

コマンド”ERROR SENSE [78]”に対する返信コマンドです。
最後のエラー状態を返信します。

Command F8
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	N2	エラー・コード (N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Error (エラーなし)
Data 3	0	1-01	Rec Error (録音に関するエラー)
Date 4	N1	1-02	Device Error (デバイスに関するエラー)
		1-09	Information Write Error (録音終了処理中のエラー)
		1-FF	Other Error (上記以外のエラー。本体を確認ください)

Request/Preset ERROR SENSE [78]

CAUTION SENSE RETURN

コマンド”CAUTION SENSE [79]”に対する返信コマンドです。
最後の警告状態を返信します。

Command F9
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	N2	警告コード (N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Caution (警告無し)
Data 3	0	1-02	Media Error (メディアに関するエラー)
Data 4	N1	1-06	Media Full (メディアの残容量が無い)
		1-07	Take Full (テイクの容量上限に達した)
		1-09	Digital Unlock (デジタル入力が UNLOCK)
		1-0B	Can't REC (録音できない状態)
		1-0C	Write Protected (メディアが書込み禁止)
		1-0D	Not Execute (機能実行できない状態)
		1-0F	Can't Edit (編集が出来ない状態)
		1-13	Can't Select (選択できない状態)
		1-14	Track Protected (トラックが保護されている)
		1-16	Name Full (名前設定の文字数制限が上限に達した)
		1-1E	Play Error (再生に関するエラー)
		1-FF	Other Caution (上記以外の警告。本体をご確認ください)

Request/Preset CAUTION SENSE [79]

VENDER COMMAND RETURN

COMMAND [7F]に対する返信コマンドです。次の「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

ベンダコマンド詳細

DA-6400/DA-6400dp のベンダコマンドは、以下の様なフォーマットで構成されています。

Byte 1	2	3	4	5	6	7	8	...	n-1	n
ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	Data 5	...	LF	CR
'0'	'7F' or 'FF'		Category Code		Sub Command		Parameter	...	LF	CR

Category Code: ベンダコマンドを機能別に区分するためのカテゴリコード(2バイトの ASCII)

Sub Command: カテゴリ内でユニークなサブコマンドコード(2バイトの ASCII)

Parameter: コマンドコードに付加するパラメタ(ASCII, 長さはサブコマンド毎に異なる)

Category Code の一覧は次のとおりです。

Category Code	カテゴリ区分	説明
02	プロジェクト	プロジェクトに係る動作
03	マーク	マークに係る動作
06	タイムコード	タイムコードに係わる設定
08	録音	録音に係わる設定
10	メディア	メディアに係わる操作
11	外部コントロール	外部コントロールに係わる設定
12	入出力	入出力に係わる設定
13	メーター	メーターに係わる設定
14	システム	システムに係わる設定
42	テイク編集	テイク単位での編集

PROJECT SKIP

プロジェクトを切り替えます。

カレントプロジェクトが最終プロジェクト時、“00”を指定すると先頭プロジェクトに移動します。

カレントプロジェクトが先頭プロジェクト時、“01”を指定すると最終プロジェクトに移動します。

Command 7F

Category Code 02

Sub Command 1A

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Project next	次のプロジェクトに移動します。
0	1	Project previous	ひとつ前のプロジェクトに移動します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

PROJECT SELECT

プロジェクト番号を指定してカレントプロジェクトを変更します。

Command 7F

Category Code 02

Sub Command 23

Machine ID 0

Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	0000	固定値 “0000”を指定します
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400: プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

- ・メディアに存在しないプロジェクト番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・カレントプロジェクトをプロジェクト番号に指定した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

CREATE PROJECT

新規プロジェクトを作成します。

作成時の Project Name の設定は、後述する”CREATE PROJECT NAME PRESET[7F024001]”で設定した値が使用されます。

実行開始時と終了時に被制御機は”CREATE PROJECT ACKNOWLEDGE[FF02C000]”を返信します。

Command	7F
Category Code	02
Sub Command	4000
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	CREATE PROJECT ACKNOWLEDGE [FF02C000]

CREATE PROJECT NAME PRESET

新規プロジェクトを作成時のプロジェクト名を設定します。

”PROJECT CREATE[7F024000]”実行前に使用します。

Data 7/8 に FF が送信された場合は、被制御機は”CREATE PROJECT NAME RETURN[FF02C001]”を返信しません。

Data 7/8 が FF 以外の場合、Data 7 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。

Command	7F
Category Code	02
Sub Command	4001
Machine ID	0
Parameter	2 byte ~ 117 byte
Return	CREATE PROJECT NAME RETURN [FF02C001]

REBUILD PROJECT

カレントプロジェクト/セッションのリビルドを行います。

リビルド開始時と完了時に”REBUILD PROJECT ACKNOWLEDGE [7F02C2]”を返信します。

Command	7F
Category Code	02
Sub Command	42
Machine ID	0
Parameter	なし
Return	REBUILD PROJECT ACKNOWLEDGE [FF02C2]

DELETE PROJECT

プロジェクトを削除します。

Data5～8 は 0000 を指定して下さい。

Data9～12 にプロジェクト番号を指定します。

削除開始時と完了時に”DELETE PROJECT ACKNOWLEDGE [7F02C4]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 44
 Machine ID 0
 Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	0000	固定値 “0000”を指定します
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

Return DELETE PROJECT ACKNOWLEDGE [7F02C4]

PROJECT No. STATUS SENSE

現在、位置しているプロジェクト番号を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 55
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return PROJECT No. RETURN [FF02D5]

PROJECT NAME SENSE

指定したプロジェクトの名前を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 5A
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 6	プロジェクト番号の一の桁	
Data 7	プロジェクト番号の千の桁	
Data 8	プロジェクト番号の百の桁	

・メディアに存在しないプロジェクト番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PROJECT NAME RETURN [FF02DA]

TOTAL PROJECT No. SENSE

指定したプロジェクトの名前を返信するよう要求します。

カレントメディア内の総プロジェクト数を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 02
 Sub Command 5E
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return TOTAL PROJECT No. RETURN [FF02DE]

MARK SET

被制御機器にマークをセットします。

タイムカウンターのカレントの位置にマークがセットされます。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 10
 Machine ID 0
 Parameter なし

DIRECT MARK SKIP PRESET

マーク番号を指定してマークスキップします。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

移動後は、移動開始時のモードを維持します。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 23
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9800: マーク 98
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	

- ・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

MARK TIME PRESET

マーク番号を指定して時刻を変更します。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 24
 Machine ID 0
 Parameter 12 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9800: マーク 98
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	
Data 9	時の十の桁	
Data 10	時の一の桁	
Data 11	分の十の桁	
Data 12	分の一の桁	
Data 13	秒の十の桁	
Data 14	秒の一の桁	
Data 15	フレームの十の桁	
Data 16	フレームの一の桁	

- ・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ カレントテイクよりも長い時間が指定された場合、本機は ILLEGAL[F2]を送出します。

Return なし

MARK NAME PRESET

マーク番号を指定して名前を変更します。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Data 9 以降に最大 10byte 送信できます。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 29
 Machine ID 0
 Parameter 5 bytes～18 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9800: マーク 98
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	
Data 9 - Data18	タイトル文字列	

- ・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。
- ・ Data9 以降に有効な名前が指定されない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

DELETE MARK

被制御機器のマークを削除します。

マーク番号を指定して削除が出来ますが、マーク番号の指定を省略すると現在位置の一つ手前のマークを削除します。

マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 44
 Machine ID 0
 Parameter なし or 4 bytes

[Parameter 4bytes の時]

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9800: マーク 98
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	

- ・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

MARK No. STATUS SENSE

現在位置の一つ手前のマーク番号を返信するよう要求します。
 マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 55
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return MARK No. RETURN [FF03D5]

MARK TIME SENSE

指定したマークの時刻を返信するよう要求します。
 マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 58
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定番号の十の桁	マーク番号 例) 9800: マーク 98
Data 6	指定番号の一の桁	
Data 7	指定番号の千の桁	
Data 8	指定番号の百の桁	

・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MARK TIME RETURN [FF03D8]

MARK NAME SENSE

指定したマークの名前を返信するよう要求します。
 マーク番号は、先頭から時間順に数えた際の番号になります。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 59
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	指定番号の十の桁	マーク番号 例) 9800: マーク 98
Data 6	指定番号の一の桁	
Data 7	指定番号の千の桁	
Data 8	指定番号の百の桁	

・ カレントテイクに存在しないマーク番号を指定された場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MARK NAME RETURN [FF03D9]

TOTAL MARK No. SENSE

カレントテイク内の総マーク数を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 03
 Sub Command 5D
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return TOTAL MARK No. RETURN [FF03DD]

CHASE SELECT

被制御機器のチェイスモードのオン／オフを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 06

Sub Command 00

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Chase OFF	チェイスモード:オフ
0	1	Chase ON	チェイスモード:オン
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CHASE RETURN [FF0680]

TC START TIME PRESET

被制御機器の TC START TIME を変更します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 06

Sub Command 10

Machine ID 0

Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	時の十の桁	0~9
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

・ 範囲外の設定 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TC START TIME RETURN [FF0690]

TC USER BITS PRESET

被制御機器の TC USER BITS を変更します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 06

Sub Command 11

Machine ID 0

Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	時の十の桁	0~9/A~F
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

・ 範囲外の設定 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TC USER BITS RETURN [FF0691]

TC RESTART

被制御機器の TC GENERATOR を設定されている START TIME から再スタートさせます。

ジェネレーターモードが、FREE RUN、REC RUN 以外の場合、本コマンドは無視されます。

Command 7F

Category Code 06

Sub Command 12

Machine ID 0

Parameter なし

Return なし

TC GENERATOR MODE SELECT

被制御機器の TC GENERATOR モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 06

Sub Command 20

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	FREE RUN	タイムコードジェネレーターモード FREE RUN
0	1	FREE ONCE	タイムコードジェネレーターモード FREE ONCE
0	2	TIME OF DAY	タイムコードジェネレーターモード TIME OF DAY
0	3	JAM SYNC	タイムコードジェネレーターモード JAM SYNC
0	4	REGEN	タイムコードジェネレーターモード REGEN
0	5	REC RUN	タイムコードジェネレーターモード REC RUN
0	6	TC SYNC REC	タイムコードジェネレーターモード TC SYNC REC
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TC GENERATOR MODE RETURN [FF06A0]

TC FRAME TYPE SELECT

被制御機器の TC FRAME TYPE を設定します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 06

Sub Command 21

Machine ID 0

Parameter 2 or 4 bytes

Data 5	Data 6	Data 7	Data 8	内容	備考
2	3			23.976F	タイムコードフレームタイプ 23.976F
2	4			24F	タイムコードフレームタイプ 24F
2	5			25F	タイムコードフレームタイプ 25F
2	9	D	F	29.97DF	タイムコードフレームタイプ 29.97DF
2	9			29.97NDF	タイムコードフレームタイプ 29.97NDF
3	0	D	F	30DF	タイムコードフレームタイプ 30DF
3	0			30NDF	タイムコードフレームタイプ 30NDF
F	F			Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TC FRAME TYPE RETURN [FF06A1]

TC OUTPUT MODE SELECT

被制御機器の TC 出力端子に出力する TC モードを設定します。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
Category Code 06
Sub Command 30
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Generator Out	Generator TC を出力
0	1	Play Out	テイクの再生 TC を出力
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TC OUTPUT MODE RETURN [FF06B0]

CLOCK MASTER SELECT

被制御機器のマスタークロックを設定します。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
Category Code 06
Sub Command 40
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Internal	マスタークロックインターナル
0	1	WORD	マスタークロックワード
0	2	VIDEO	マスタークロックビデオ
0	3	SLOT1	マスタークロックスロット 1
0	4	SLOT2	マスタークロックスロット 2
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return CLOCK MASTER RETURN [FF06C0]

WORD THRU SELECT

被制御機器の WORD/VIDEO SETUP を設定します。
Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
Category Code 06
Sub Command 48
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	WORD OUT/TERM ON	ワードアウト/ターミネーションオン
0	1	WORD OUT/TERM OFF	ワードアウト/ターミネーションオフ
1	1	WORD THRU/TERM OFF	ワードスルー/ターミネーションオフ
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return WORD THRU RETURN [FF06C8]

RECORD FUNCTION SELECT

被制御機器のレコードファンクションのオン/オフを設定します。

Data5～8 で指定されたチャンネル番号からレコードファンクションを設定します。

チャンネル番号に 0 を指定すると、全チャンネルのレコードファンクション設定を Data9 で指定された設定とします。

チャンネル番号に 0 を指定するときは、Data9 のみを設定して下さい。

チャンネル番号に 0 を指定したとき、Data10 以降に指定がある場合、本機は ILLEGAL[F2]を送出します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 00
 Machine ID 0
 Parameter 5-68 bytes

	内容	備考
Data 5	スタートチャンネル番号の十の桁	スタートチャンネル番号 例) 6400:チャンネル 64 から 0000:全チャンネル
Data 6	スタートチャンネル番号の一の桁	
Data 7	スタートチャンネル番号の千の桁	
Data 8	スタートチャンネル番号の百の桁	
Data 9	レコードファンクション設定	0=オフ/1=オン スタートチャンネルに 0 を指定した場合には Data9 のみ
.		
.		
.		
Data72		

・ 範囲外の設定 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return RECORD FUNCTION RETURN [FF0880]

INPUT MONITOR FUNCTION SELECT

被制御機器のインプットモニターファンクションのオン/オフを設定します。

Data5～8 で指定されたチャンネル番号からインプットモニターファンクションを設定します。

チャンネル番号に 0 を指定すると、全チャンネルのインプットモニターファンクション設定を Data9 で指定された設定とします。

チャンネル番号に 0 を指定するときは、Data9 のみを設定して下さい。

チャンネル番号に 0 を指定したとき、Data10 以降に指定がある場合、本機は ILLEGAL[F2]を送出します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 01
 Machine ID 0
 Parameter 5-68 bytes

	内容	備考
Data 5	スタートチャンネル番号の十の桁	スタートチャンネル番号 例) 6400:チャンネル 64 から 0000:全チャンネル
Data 6	スタートチャンネル番号の一の桁	
Data 7	スタートチャンネル番号の千の桁	
Data 8	スタートチャンネル番号の百の桁	
Data 9	モニターファンクション設定	0=オフ/1=オン スタートチャンネルに 0 を指定した場合には Data9 のみ
.		
.		
.		
Data72		

・ 範囲外の設定 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return INPUT MONITOR FUNCTION RETURN [FF0881]

BIT LENGTH SELECT

被制御機器のビット長を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 08

Sub Command 22

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
1	6	16bit	16ビット設定でオーディオファイルを作成する
2	4	24bit	24ビット設定でオーディオファイルを作成する
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return BIT LENGTH RETURN [FF08A2]

MAX FILE SIZE SELECT

被制御機の最大ファイルサイズを設定します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 08

Sub Command 23

Machine ID 0

Parameter 2 or 6 bytes

Data 5/6	Data 7	Data 8	Data 9	Data10	内容	備考
00	4	0	0	6	640MB	容量(MB)
	2	4	1	0	1GB	
	4	8	2	0	2GB	
01	分の 十の 桁	分の 一の 桁	分の 千の 桁	分の 百の 桁		時間(分):最大 240 分 例) 0100: 1分 4002: 240 分
FF					Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MAX FILE SIZE RETURN [FF08A3]

PAUSE MODE SELECT

被制御機器の PAUSE モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 08

Sub Command 24

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	SPLIT	ファイルを分割する
0	1	NO SPLIT	ファイルを分割しない
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PAUSE MODE RETURN [FF08A4]

USER WORD PRESET

被制御機器の FILE NAME の USER WORD を設定します。

Data 5 以降に最大 31byte 送信できます。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 2A
 Machine ID 0
 Parameter 1 byte~31 bytes

	内容	備考
Data 5 - Data35	ユーザーワード文字列	

- ・ Data5 以降に有効な名前が指定されない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return なし

TIME INTERVAL MARKER TIME PRESET

被制御機器の TIME INTERVAL MARKER TIME を設定します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 32
 Machine ID 0
 Parameter 2 or 4bytes

	内容	備考
Data 5	インターバル時間の十の桁	インターバル時間(分) 例) 2301:インターバル 123 分(最大 240 分)
Data 6	インターバル時間の一の桁	
Data 7	インターバル時間の千の桁	
Data 8	インターバル時間の百の桁	

- ・ 範囲外の設定 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TIME INTERVAL MARKER RETURN [FF08B2]

AUDIO OVER MARKER SELECT

被制御機器の AUDIO OVER MARKER を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 41
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Marker Off	AUDIO OVER MARKER OFF
0	1	Marker On	AUDIO OVER MARKER ON
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUDIO OVER MARKER RETURN [FF08C1]

TIME INTERVAL MARKER SELECT

被制御機器の TIME INTERVAL MARKER を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 08

Sub Command 42

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Marker Off	TIME INTERVAL MARKER OFF
0	1	Marker On	TIME INTERVAL MARKER ON
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return TIME INTERVAL MARKER RETURN [FF08C2]

SYNC UNLOCK MARKER SELECT

被制御機器の SYNC UNLOCK MARKER を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 08

Sub Command 43

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Marker Off	SYNC UNLOCK MARKER OFF
0	1	Marker On	SYNC UNLOCK MARKER ON
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return SYNC UNLOCK MARKER RETURN [FF08C3]

REC FS SELECT

被制御機器の REC FS を設定します。

Data 5 と Data 6 に Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 08

Sub Command 50

Machine ID 0

Parameter 2 or 6bytes

Data 5	Data 6	Data 7	Data 8	Data 9	Data 10	内容	備考
4	4	0	0	0	0	44.1kHz	
4	8	0	0	0	0	48kHz	
8	8	0	0	0	0	88.2kHz	
9	6	0	0	0	0	96kHz	
F	F					Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return REC FS RETURN [FF08D0]

USER WORD SENSE

USER WORD を返信するよう要求します。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 5A
 Machine ID 0
 Parameter なし
 Return USER WORD RETURN [FF08DA]

FILE NAME SELECT

被制御機器の FILE NAME を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F
 Category Code 08
 Sub Command 60
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Date & Time	ファイル名に日時を使用します
0	1	Folder	ファイル名にカレントフォルダー名を使用します
1	1	User Word	ファイル名にユーザーワードを使用します
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return FILE NAME RETURN [FF08E0]

MEDIA REMAIN SENSE

被制御機器のメディア残容量情報を返信するよう要求します。

メディアの指定を省略するとカレントメディアの情報を返信します。

メディア残量は MB で返信されます。

Command 7F
 Category Code 10
 Sub Command 01
 Machine ID 0
 Parameter なし or 2 bytes

[Parameter 2bytes の時]

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	SSD	
0	1	USB	

- ・ 装着されていないメディアを指定された場合、0MB を返信します。
- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MEDIA REMAIN RETURN [FF1081]

MEDIA FORMAT

被制御機器の指定メディアをフォーマットします。

実行開始時と終了時に被制御機が”MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE [FF10C4]”を返信します。

Command 7F

Category Code 10

Sub Command 44

Machine ID 0

Parameter 4bytes

	内容	備考
Data 5	00:Quick Format	フォーマット形式
Data 6	01:Full Format	
Data 7	00:SSD	フォーマットメディア
Data 8		

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE [FF10C4]

AUX ASSIGN KEY SELECT

被制御機器の AUX KEY ASSIGN を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 11

Sub Command 10

Machine ID 0

Parameter 4bytes

	内容	備考
Data 5	01~06: AUX1~AUX6	AUX KEY
Data 6		
Data 7	00: PLAY/PAUSE 01: PAUSE 02: REC 03: FADER REC 04: FADER START 05: REW 06: F.FWD 07: TAKE SKIP- 08: TAKE SKIP+ 09: MARK SKIP- 0A: MARK SKIP+ 0B: TAKE/MARK SKIP- 0C: TAKE/MARK SKIP+ 0D: MARK FF: Sense	機能
Data 8		

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUX ASSIGN KEY RETURN [FF1190]

AUX ASSIGN TALLY SELECT

被制御機器の AUX TALLY ASSIGN を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 11

Sub Command 11

Machine ID 0

Parameter 4bytes

	内容	備考
Data 5	01~05: AUX1~AUX5	AUX TALLY
Data 6		
Data 7	00: STOP 01: PLAY 02: PAUSE 03: REC 04: EOM 05: ERROR 06: EOM/ERROR FF: Sense	機能
Data 8		

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUX ASSIGN TALLY RETURN [FF1191]

INPUT ROUTING SELECT

被制御機器の INPUT ROUTING を設定します。

Data5～8 で指定されたスタートチャンネル番号から INPUT ROUTING を設定します。

Data5～8 に Sense [xxFF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 12

Sub Command 50

Machine ID 0

Parameter 4-260 bytes

	内容	備考
Data 5	スタートチャンネル番号の十の桁	スタートチャンネル番号 例) 6300:チャンネル 63 から xxFF: Sense (xx は無視される)
Data 6	スタートチャンネル番号の一の桁	
Data 7	0 固定	
Data 8	スタートチャンネル番号の百の桁	スタートチャンネルの入力設定 ソーススロット番号: 0=Slot1/1=Slot2 ソースチャンネル設定 例) 3200:スロット 1 のチャンネル 32
Data 9	ソースチャンネル番号の十の桁	
Data10	ソースチャンネル番号の一の桁	
Data11	ソーススロット番号	
Data12	ソースチャンネル番号の百の桁	
Data13	ソースチャンネル番号の十の桁	
Data14	ソースチャンネル番号の一の桁	
Data15	ソーススロット番号	
Data16	ソースチャンネル番号の百の桁	スタートチャンネル+1チャンネルの入力設定 ソースチャンネル設定 例) 6410:スロット 2 のチャンネル 64
.		
.		
.		

- ・ 範囲外の設定 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return INPUT ROUTING RETURN [FF12D0]

OUTPUT ROUTING SELECT

被制御機器の OUTPUT ROUTING を設定します。

Data5～8 で指定されたスロットの OUTPUT ROUTING を、指定されたチャンネル番号から設定します。

Data5～8 に Sense [xxFF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。(xx=Slot 番号)

Command 7F
 Category Code 12
 Sub Command 51
 Machine ID 0
 Parameter 4-260 bytes

	内容	備考
Data 5	スタートチャンネル番号の十の桁	設定スロット番号:0=Slot1/1=Slot2
Data 6	スタートチャンネル番号の一の桁	スタートチャンネル番号設定
Data 7	スロット番号	例) 6300:スロット 1 のチャンネル 63 から
Data 8	スタートチャンネル番号の百の桁	xxFF: Sense(xx=Slot 番号)
Data 9	ソースチャンネル番号の十の桁	スタートチャンネルの出力設定
Data10	ソースチャンネル番号の一の桁	例) 3200:チャンネル 32
Data11	0 固定	
Data12	ソースチャンネル番号の百の桁	
Data13	ソースチャンネル番号の十の桁	スタートチャンネル+1チャンネルの出力設定
Data14	ソースチャンネル番号の一の桁	例) 6400:チャンネル 64
Data15	0 固定	
Data16	ソースチャンネル番号の百の桁	
.		
.		
.		

- ・ 範囲外の設定 Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return OUTPUT ROUTING RETURN [FF12D1]

METER PEAK HOLD TIME PRESET

被制御機器の METER PEAK HOLD TIME を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 13

Sub Command 21

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Hold Time 0s	ピークホールドしない
.			01～09: 指定秒間ホールド
.			
.			
1	0	Hold Time 10s	10s 間ホールド
F	E	Hold Time Inf.	クリアされるまでホールド
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return METER PEAK HOLD TIME RETURN [FF13A1]

METER PEAK CLEAR

被制御機でメーターピークホールドのクリアを実行します。

Command 7F

Category Code 13

Sub Command 30

Machine ID 0

Parameter なし

Return なし

DIGITAL REFERENCE LEVEL PRESET

被制御機器の DIGITAL REFERENCE LEVEL を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 7F

Category Code 14

Sub Command 20

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	9	Reference Level - 9dB	デジタルリファレンスレベル- 9dB
1	4	Reference Level -14dB	デジタルリファレンスレベル-14dB
1	6	Reference Level -16dB	デジタルリファレンスレベル-16dB
1	8	Reference Level -18dB	デジタルリファレンスレベル-18dB
2	0	Reference Level -20dB	デジタルリファレンスレベル-20dB
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

- ・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return DIGITAL REFERENCE LEVEL RETURN [FF14A0]

TAKE RENAME

被制御機器のカレントプロジェクト内の指定テイクのテイク名を変更します。

Data 9 以降に UTF-8 で最大 117byte 送信できます。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE RENAME ACKNOWLEDGE [FF4280]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 42
 Sub Command 00
 Machine ID 0
 Parameter 5 - 121 bytes

	内容	備考
Data 5	テイク番号の十の桁	テイク番号 例) 1400:テイク 14
Data 6	テイク番号の一の桁	
Data 7	テイク番号の千の桁	
Data 8	テイク番号の百の桁	
Data 9 - 125	テイク名	UTF-8

Return TAKE RENAME ACKNOWLEDGE [FF4280]

TAKE ERASE

被制御機器のカレントプロジェクト内の指定テイクを削除します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE ERASE ACKNOWLEDGE [FF42B0]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 42
 Sub Command 30
 Machine ID 0
 Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	テイク番号の十の桁	テイク番号 例) 1400:テイク 14
Data 6	テイク番号の一の桁	
Data 7	テイク番号の千の桁	
Data 8	テイク番号の百の桁	

Return TAKE ERASE ACKNOWLEDGE [FF42B0]

TAKE COPY

被制御機器のカレントプロジェクト内の指定テイクを指定フォルダーにコピーします。

Data 9 以降に UTF-8 で最大 117byte のコピー先フォルダーをフルパス名で指定します。

コピー先フォルダーを指定する際、SSDを指定する場合、“A:¥”、USBを指定する場合、“B:¥”のあとにフォルダ一名を指定します。

被制御機は実行開始時と終了時に” TAKE COPY ACKNOWLEDGE [FF42D2]”を返信します。

Command 7F
 Category Code 42
 Sub Command 52
 Machine ID 0
 Parameter 7 - 121 bytes

	内容	備考
Data 5	テイク番号の十の桁	テイク番号 例) 1400:テイク 14
Data 6	テイク番号の一の桁	
Data 7	テイク番号の千の桁	
Data 8	テイク番号の百の桁	
Data 9 - 125	コピー先名	UTF-8 (フルパス)

Return TAKE COPY ACKNOWLEDGE [FF42D2]

CREATE PROJECT ACKNOWLEDGE

コマンド”CREATE PROJECT [7F024000]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C000
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行未完了、失敗

Request/Preset CREATE PROJECT [7F024000]

CREATE PROJECT NAME RETURN

コマンド” CREATE PROJECT NAME PRESET [7F024001]”に対する返信コマンドです。
CREATE PROJECT 実行時のプロジェクト名を返信します。
Data 7 以降に UTF-8 で返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C001
Machine ID 0
Parameter 5 bytes ~ 117 bytes

Request/Preset CREATE PROJECT NAME PRESET [7F024001]

REBUILD PROJECT ACKNOWLEDGE

コマンド”REBUILD PROJECT [7F0242]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C2
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行できなかった、失敗

Request/Preset DELETE PROJECT [7F0242]

DELETE PROJECT ACKNOWLEDGE

コマンド”DELETE PROJECT [7F0244]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command C4
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行できなかった、失敗

Request/Preset DELETE SESSION/PROJECT [7F0244]

PROJECT No. RETURN

コマンド”PROJECT No. STATUS SENSE [7F0255]”に対する返信コマンドです。
現在、位置しているセッション番号を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command D5
Machine ID 0
Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	0000 固定	
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

Request/Preset PROJECT No. STATUS SENSE [7F0255]

PROJECT NAME RETURN

コマンド”PROJECT NAME SENSE [7F025A]”に対する返信コマンドです。
プロジェクトの名前を返信します。
Data 9 以降に UTF-8 でプロジェクト名を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command DA
Machine ID 0
Parameter 5 bytes~119 bytes

	内容	備考
Data 5	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 6	プロジェクト番号の一の桁	
Data 7	プロジェクト番号の千の桁	
Data 8	プロジェクト番号の百の桁	
Data 9 - Data123	タイトル	プロジェクト名(UTF-8)

- ・タイトルは 2 バイト以上 115 バイト以下です。

Request/Preset PROJECT NAME SENSE [7F025A]

TOTAL PROJECT No. RETURN

コマンド”TOTAL PROJECT No. SENSE [7F025E]”に対する返信コマンドです。
総プロジェクト数を返信します。

Command FF
Category Code 02
Sub Command DE
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	総プロジェクト数の十の桁	Data 5 - Data 8 が 0000 の場合は、プロジェクトが含まれていないか、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 6	総プロジェクト数の一の桁	
Data 7	総プロジェクト数の千の桁	
Data 8	総プロジェクト数の百の桁	

Request/Preset TOTAL PROJECT No. SENSE [7F025E]

PROJECT CHANGE STATUS

プロジェクトが変更されたときに返信します。

変更後のプロジェクト番号を返信します。

Command FF

Category Code 02

Sub Command F6

Machine ID 0

Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	0000 固定	
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	プロジェクト番号の十の桁	プロジェクト番号 例) 5400:プロジェクト 54
Data 10	プロジェクト番号の一の桁	
Data 11	プロジェクト番号の千の桁	
Data 12	プロジェクト番号の百の桁	

Request/Preset なし

MARK No. RETURN

コマンド”MARK No. STATUS SENSE [7F0355]”に対する返信コマンドです。
現在、位置しているマーク番号を返信します。

Command FF
Category Code 03
Sub Command D5
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9800:マーク 98
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	

Request/Preset MARK No. STATUS SENSE [7F0355]

MARK TIME RETURN

コマンド”MARK TIME SENSE [7F0358]”に対する返信コマンドです。

Command FF
Category Code 03
Sub Command D8
Machine ID 0
Parameter 12 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9800:マーク 98
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	
Data 9	時の十の桁	
Data 10	時の一の桁	
Data 11	分の十の桁	
Data 12	分の一の桁	
Data 13	秒の十の桁	
Data 14	秒の一の桁	
Data 15	フレームの十の桁	
Data 16	フレームの一の桁	

Request/Preset MARK TIME SENSE [7F0358]

MARK NAME RETURN

コマンド”MARK NAME SENSE [7F0359]”に対する返信コマンドです。

Command FF
Category Code 03
Sub Command D9
Machine ID 0
Parameter 4 bytes~14 bytes

	内容	備考
Data 5	マーク番号の十の桁	マーク番号 例) 9800:マーク 98
Data 6	マーク番号の一の桁	
Data 7	マーク番号の千の桁	
Data 8	マーク番号の百の桁	
Data 9-18	マーク名	

Request/Preset MARK NAME SENSE [7F0359]

TOTAL MARK No. RETURN

コマンド”TOTAL MARK No. SENSE [7F035D]”に対する返信コマンドです。

総マーク数を返信します。

Command FF

Category Code 03

Sub Command DD

Machine ID 0

Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	総マーク数の十の桁	Data 5 - Data 8 が 0000 の場合は、テイクにマークが含まれていないか、メディアが挿入されていないことを示します。
Data 6	総マーク数の一の桁	
Data 7	総マーク数の千の桁	
Data 8	総マーク数の百の桁	

Request/Preset TOTAL MARK No. SENSE [7F035D]

CHASE RETURN

コマンド”CHASE SELECT [7F0600]”に対する返信コマンドです。
 チェイスモードのオン/オフ状態を返信します。

Command FF
 Category Code 06
 Sub Command 80
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Chase OFF	チェイスモード:オフ
0	1	Chase ON	チェイスモード:オン

Request/Preset CHASE SELECT [7F0600]

TC START TIME RETURN

コマンド”TC START TIME PRESET [7F0610]”に対する返信コマンドです。
 設定されている TC START TIME を返信します。

Command FF
 Category Code 06
 Sub Command 90
 Machine ID 0
 Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	時の十の桁	0~9
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

Request/Preset TC START TIME PRESET [7F0610]

TC USER BITS RETURN

コマンド”TC USER BITS PRESET [7F0611]”に対する返信コマンドです。
 設定されている TC USER BITS を返信します。

Command FF
 Category Code 06
 Sub Command 91
 Machine ID 0
 Parameter 8 bytes

	内容	備考
Data 5	時の十の桁	0~9/A~F
Data 6	時の一の桁	
Data 7	分の十の桁	
Data 8	分の一の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	フレームの十の桁	
Data 12	フレームの一の桁	

Request/Preset TC USER BITS PRESET [7F0611]

TC GENERATOR MODE RETURN

コマンド”TC GENERATOR MODE SELECT [7F0620]”に対する返信コマンドです。
ジェネレーター設定を返信します。

Command FF
Category Code 06
Sub Command A0
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	FREE RUN	タイムコードジェネレーターモード FREE RUN
0	1	FREE ONCE	タイムコードジェネレーターモード FREE ONCE
0	2	TIME OF DAY	タイムコードジェネレーターモード TIME OF DAY
0	3	JAM SYNC	タイムコードジェネレーターモード JAM SYNC
0	4	REGEN	タイムコードジェネレーターモード REGEN
0	5	REC RUN	タイムコードジェネレーターモード REC RUN
0	6	TC SYNC REC	タイムコードジェネレーターモード TC SYNC REC

Request/Preset TC GENERATOR MODE SELECT [7F0620]

TC FRAME TYPE RETURN

コマンド”TC FRAME TYPE SELECT [7F0621]”に対する返信コマンドです。
フレームタイプ設定を返信します。

Command FF
Category Code 06
Sub Command A1
Machine ID 0
Parameter 2 or 4 bytes

Data 5	Data 6	Data 7	Data 8	内容	備考
2	3			23.976F	タイムコードフレームタイプ 23.976F
2	4			24F	タイムコードフレームタイプ 24F
2	5			25F	タイムコードフレームタイプ 25F
2	9	D	F	29.97DF	タイムコードフレームタイプ 29.97DF
2	9			29.97NDF	タイムコードフレームタイプ 29.97NDF
3	0	D	F	30DF	タイムコードフレームタイプ 30DF
3	0			30NDF	タイムコードフレームタイプ 30NDF

Request/Preset TC FRAME TYPE SELECT [7F0621]

TC OUTPUT MODE RETURN

コマンド”TC OUTPUT MODE SELECT [7F0630]”に対する返信コマンドです。
フレームタイプ設定を返信します。

Command FF
Category Code 06
Sub Command B0
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Generator Out	Generator TC を出力
0	1	Play Out	テイクの再生 TC を出力

Request/Preset TC OUTPUT MODE SELECT [7F0630]

CLOCK MASTER RETURN

コマンド”CLOCK MASTER SELECT [7F0640]”に対する返信コマンドです。
マスタークロック設定を返信します。

Command FF
Category Code 06
Sub Command C0
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Internal	マスタークロックインターナル
0	1	WORD	マスタークロックワード
0	2	VIDEO	マスタークロックビデオ
0	3	SLOT1	マスタークロックスロット 1
0	4	SLOT2	マスタークロックスロット 2

Request/Preset CLOCK MASTER SELECT [7F0640]

WORD THRU RETURN

コマンド”WORD THRU SELECT [7F0648]”に対する返信コマンドです。
WORD/VIDEO SETUP 設定を返信します。

Command FF
Category Code 06
Sub Command C8
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	WORD OUT/TERM ON	ワードアウト/ターミネーションオン
0	1	WORD OUT/TERM OFF	ワードアウト/ターミネーションオフ
1	1	WORD THRU/TERM OFF	ワードスルー/ターミネーションオフ

Request/Preset WORD THRU SELECT [7F0648]

RECORD FUNCTION RETURN

コマンド”RECORD FUNCTION SELECT [7F0800]”に対する返信コマンドです。
全チャンネルのレコードファンクション設定を返信します。

Command FF
Category Code 08
Sub Command 80
Machine ID 0
Parameter 68bytes

	内容	備考
Data 5	0100 固定	スタートチャンネル番号 チャンネル 1 から
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	ch 1 レコードファンクション設定	0=オフ/1=オン
.		
.		
.		
Data72	ch64 レコードファンクション設定	

Request/Preset RECORD FUNCTION SELECT [7F0800]

INPUT MONITOR FUNCTION RETURN

コマンド”INPUT MONITOR FUNCTION SELECT [7F0801]”に対する返信コマンドです。
全チャンネルのインプットモニターファンクション設定を返信します。

Command FF
Category Code 08
Sub Command 81
Machine ID 0
Parameter 68 bytes

	内容	備考
Data 5	0100 固定	スタートチャンネル番号 チャンネル 1 から
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	ch 1 モニターファンクション設定	0=オフ/1=オン
.		
.		
Data72	ch64 モニターファンクション設定	

Request/Preset INPUT MONITOR FUNCTION SELECT [7F0801]

BIT LENGTH RETURN

コマンド”BIT LENGTH SELECT [7F0822]”に対する返信コマンドです。
ビット長設定を返信します。

Command FF
Category Code 08
Sub Command A2
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
1	6	16bit	16 ビット設定でオーディオファイルを作成する
2	4	24bit	24 ビット設定でオーディオファイルを作成する

Request/Preset BIT LENGTH SELECT [7F0822]

MAX FILE SIZE RETURN

コマンド”MAX FILE SIZE SELECT [7F0823]”に対する返信コマンドです。
最大ファイルサイズ設定を返信します。

Command FF
Category Code 08
Sub Command A3
Machine ID 0
Parameter 6 bytes

Data 5/6	Data 7	Data 8	Data 9	Data10	内容	備考
00	4	0	0	6	640MB	容量(MB)
	2	4	1	0	1GB	
	4	8	2	0	2GB	
01	分の 十の 桁	分の 一の 桁	分の 千の 桁	分の 百の 桁		時間(分):最大 240 分 例) 0100: 1 分 4002:240 分

Request/Preset MAX FILE SIZE SELECT [7F0823]

PAUSE MODE RETURN

コマンド”PAUSE MODE SELECT [7F0824]”に対する返信コマンドです。

PAUSE モード設定を返信します。

Command FF

Category Code 08

Sub Command A4

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	SPLIT	ファイルを分割する
0	1	NO SPLIT	ファイルを分割しない

Request/Preset PAUSE MODE SELECT [7F0824]

TIME INTERVAL MARKER TIME RETURN

コマンド”TIME INTERVAL MARKER TIME PRESET [7F0832]”に対する返信コマンドです。

TIME INTERVAL MARKER TIME 設定を返信します。

Command FF

Category Code 08

Sub Command B2

Machine ID 0

Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	インターバル時間の十の桁	インターバル時間(分) 例) 2301: インターバル 123 分(最大 240 分)
Data 6	インターバル時間の一の桁	
Data 7	インターバル時間の千の桁	
Data 8	インターバル時間の百の桁	

Request/Preset TIME INTERVAL MARKER PRESET [7F0832]

AUDIO OVER MARKER RETURN

コマンド”AUDIO OVER MARKER SELECT [7F0841]”に対する返信コマンドです。

AUTO MARK AUDIO OVER 設定を返信します。

Command FF

Category Code 08

Sub Command C1

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Marker Off	AUDIO OVER MARKER OFF
0	1	Marker On	AUDIO OVER MARKER ON

Request/Preset AUDIO OVER MARKER SELECT [7F0841]

TIME INTERVAL MARKER RETURN

コマンド”TIME INTERVAL MARKER SELECT [7F0842]”に対する返信コマンドです。
 AUTO MARK TIME INTERVAL 設定を返信します。

Command FF
 Category Code 08
 Sub Command C2
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Marker Off	TIME INTERVAL MARKER OFF
0	1	Marker On	TIME INTERVAL MARKER ON

Request/Preset TIME INTERVAL MARKER SELECT [7F0842]

SYNC UNLOCK MARKER RETURN

コマンド”SYNC UNLOCK MARKER SELECT [7F0843]”に対する返信コマンドです。
 AUTO MARK SYNC UNLOCK 設定を返信します。

Command FF
 Category Code 08
 Sub Command C3
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Marker Off	SYNC UNLOCK MARKER OFF
0	1	Marker On	SYNC UNLOCK MARKER ON

Request/Preset SYNC UNLOCK MARKER SELECT [7F0843]

REC FS RETURN

コマンド”REC FS SELECT [7F0850]”に対する返信コマンドです。
 REC FS 設定を返信します。

Command FF
 Category Code 08
 Sub Command D0
 Machine ID 0
 Parameter 6 bytes

Data 5	Data 6	Data 7	Data 8	Data 9	Data 10	内容	備考
4	4	0	0	0	0	44.1kHz	
4	8	0	0	0	0	48kHz	
8	8	0	0	0	0	88.2kHz	
9	6	0	0	0	0	96kHz	

Request/Preset REC FS SELECT [7F0850]

USER WORD RETURN

コマンド”USER WORD SENSE [7F085A]”に対する返信コマンドです。
ユーザーワードを UTF-8 で返信します。

Command FF
Category Code 08
Sub Command DA
Machine ID 0
Parameter 31 bytes

	内容	備考
Data 5 - Data35	ユーザーワード	UTF-8

Request/Preset USER WORD SENSE [7F085A]

FILE NAME RETURN

コマンド”FILE NAME SELECT [7F0860]”に対する返信コマンドです。
FILE NAME 設定を返信します。

Command FF
Category Code 08
Sub Command E0
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Date & Time	ファイル名に日時を使用します
0	1	Folder	ファイル名にカレントフォルダー名を使用します
1	1	User Word	ファイル名にユーザーワードを使用します

Request/Preset FILE NAME SELECT [7F0860]

MEDIA REMAIN RETURN

コマンド”MEDIA REMAIN SENSE [7F1001]”に対する返信コマンドです。

指定メディアの残容量を返信します。

指定メディアが装着されていない場合、残容量 0MB を返信します。

Command FF
 Category Code 10
 Sub Command 81
 Machine ID 0
 Parameter 10 bytes

	内容	備考
Data 5	デバイス ID 十の桁	デバイス ID: 00=SSD/01=USB
Data 6	デバイス ID 一の桁	
Data 7	残容量 GB の十の桁	メディアの残容量 例 16000000 = 16GB 例 00001205 = 512MB
Data 8	残容量 GB の一の桁	
Data 9	残容量 GB の千の桁	
Data 10	残容量 GB の百の桁	
Data 11	残容量 MB の十の桁	
Data 12	残容量 MB の一の桁	
Data 13	残容量 MB の千の桁	
Data 14	残容量 MB の百の桁	

Request/Preset MEDIA REMAIN SENSE [7F1001]

MEDIA FORMAT ACKNOWLEDGE

コマンド”MEDIA FORMAT [7F1044]”に対する返信コマンドです。

処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
 Category Code 10
 Sub Command C4
 Machine ID 0
 Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行ができなかった、失敗

Request/Preset MEDIA FORMAT [7F1044]

AUX ASSIGN KEY RETURN

コマンド”AUX ASSINGE KEY SELECT [7F1110]”に対する返信コマンドです。
指定 AUX の KEY ASSIGN を返信します。

Command FF
Category Code 11
Sub Command 90
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	01~06:AUX1~AUX6	AUX KEY
Data 6		
Data 7	00:PLAY/PAUSE 01:PAUSE 02:REC 03:FADER REC 04:FADER START 05:REW 06:F.FWD 07:TAKE SKIP- 08:TAKE SKIP+ 09:MARK SKIP- 0A:MARK SKIP+ 0B:TAKE/MARK SKIP- 0C:TAKE/MARK SKIP+ 0D:MARK	
Data 8		

Request/Preset AUX ASSIGN KEY SELECT [7F1110]

AUX ASSIGN TALLY RETURN

コマンド”AUX ASSING TALLY SELECT [7F1111]”に対する返信コマンドです。
指定 AUX の TALLY ASSIGN を返信します。

Command FF
Category Code 11
Sub Command 91
Machine ID 0
Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	01~05:AUX1~AUX5	AUX TALLY
Data 6		
Data 7	00:STOP 01:PLAY 02:PAUSE 03:REC 04:EOM 05:ERROR 06:EOM/ERROR	
Data 8		

Request/Preset AUX ASSIGN TALLY SELECT [7F1111]

INPUT ROUTING RETURN

コマンド”INPUT ROUTING SELECT [7F1250]”に対する返信コマンドです。
全チャンネルの入力設定を返信します。

Command FF
Category Code 12
Sub Command D0
Machine ID 0
Parameter 260 bytes

	内容	備考
Data 5	0100 固定	スタートチャンネル番号 チャンネル 1 から
Data 6		
Data 7		
Data 8		
Data 9	ソースチャンネル番号の十の桁	ch 1 の情報
Data10	ソースチャンネル番号の一の桁	
Data11	ソーススロット番号	
Data12	ソースチャンネル番号の百の桁	
.		
.		
.		
Data261	ソースチャンネル番号の十の桁	ch64 の情報
Data262	ソースチャンネル番号の一の桁	
Data263	ソーススロット番号	
Data264	ソースチャンネル番号の百の桁	

Request/Preset INPUT ROUTING SELECT [7F1250]

OUTPUT ROUTING RETURN

コマンド”OUTPUT ROUTING SELECT [7F1251]”に対する返信コマンドです。
指定スロットの全チャンネルの出力設定を返信します。

Command FF
Category Code 12
Sub Command D1
Machine ID 0
Parameter 260 bytes

	内容	備考
Data 5	0 固定	指定スロット番号: 0=Slot1/1=Slot2
Data 6	1 固定	スタートチャンネル番号
Data 7	スロット番号	スロット 1: 0100
Data 8	0 固定	スロット 2: 0110
Data 9	ソースチャンネル番号の十の桁	ch 1 の情報
Data10	ソースチャンネル番号の一の桁	
Data11	0 固定	
Data12	ソースチャンネル番号の百の桁	
.		
.		
.		
Data261	ソースチャンネル番号の十の桁	ch64 の情報
Data262	ソースチャンネル番号の一の桁	
Data263	0 固定	
Data264	ソースチャンネル番号の百の桁	

Request/Preset OUTPUT ROUTING SELECT [7F1251]

METER PEAK HOLD TIME RETURN

コマンド”METER PEAK HOLD TIME PRESET [7F1321]”に対する返信コマンドです。
メーターピークホールド設定を返信します。

Command FF

Category Code 13

Sub Command A1

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	Hold Time 0s	ピークホールドしない
0	1	Hold Time 1s	1s 間ホールド
0	2	Hold Time 2s	2s 間ホールド
0	3	Hold Time 3s	3s 間ホールド
0	4	Hold Time 4s	4s 間ホールド
0	5	Hold Time 5s	5s 間ホールド
0	6	Hold Time 6s	6s 間ホールド
0	7	Hold Time 7s	7s 間ホールド
0	8	Hold Time 8s	8s 間ホールド
0	9	Hold Time 9s	9s 間ホールド
1	0	Hold Time 10s	10s 間ホールド
F	E	Hold Time Inf.	常時ホールド

Request/Preset METER PEAK HOLD TIME SELECT [7F1321]

DIGITAL REFERENCE LEVEL RETURN

コマンド”DIGITAL REFERENCE LEVEL PRESET [7F1420]”に対する返信コマンドです。
デジタルリファレンスレベル設定を返信します。

Command FF

Category Code 14

Sub Command A0

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	9	Reference Level - 9dB	デジタルリファレンスレベル- 9dB
1	4	Reference Level -14dB	デジタルリファレンスレベル-14dB
1	6	Reference Level -16dB	デジタルリファレンスレベル-16dB
1	8	Reference Level -18dB	デジタルリファレンスレベル-18dB
2	0	Reference Level -20dB	デジタルリファレンスレベル-20dB

Request/Preset DIGITAL REFERENCE LEVEL PRESET [7F1420]

TAKE RENAME ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE RENAME [7F4200]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 42
Sub Command 80
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行ができなかった、失敗

Request/Preset TAKE RENAME [7F4200]

TAKE ERASE ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE ERASE [7F4230]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 42
Sub Command B0
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行ができなかった、失敗

Request/Preset TAKE ERASE [7F4230]

TAKE COPY ACKNOWLEDGE

コマンド”TAKE COPY [7F4252]”に対する返信コマンドです。
処理の実行開始と、実行結果を返信します。

Command FF
Category Code 42
Sub Command D2
Machine ID 0
Parameter 2 bytes

Data 7	Data 8	内容	備考
0	0	Start	実行開始
1	1	End (OK)	実行正常終了
1	2	End (NG)	実行ができなかった、失敗

Request/Preset TAKE COPY [7F4252]

DATE	DOC Ver.	CONTENTS
2016/02/25	1.00	初版発行